

安全運転

ほっと NEWS
2013年2月号

今月のクイズ

平成23年中の交通事故件数を法令違反別にみると、安全を確認しなかったために起きた事故(安全不確認)は全体の何%を占めるでしょうか？ (答えは裏面)

① 51.4% ② 31.4% ③ 11.4%



TOKIO MARINE
NICHIDO

注意をうまく働かせるために

「いつも使う道は工事中だから、今日は別の道にしよう」と思っていたのに、気が付いたらいつもの道へ車が向いていたとか、考えごとをしながら運転していて「あっ、しまった、行き過ぎた」と曲がる角を通り越してしまうなど、自分で気がつかないうちに注意がそれて運転ミスをしてしまうことはありませんか？

今月は、なぜこのようなミスをしてしまうのか、このようなミスがどのような事故に発展してしまうのか、どうしたら防ぐことができるのかをみてみましょう。

人は常に集中してられるものではありません

平成23年度のJAFロードサービスの救援依頼(※)の内容をみると、鍵を車に残したままロックしてしまう「キー閉じ込み」が全体の約12%を占めており、毎年上位にランキングされています。「キー閉じ込み」は、車から出るときに注意して行動すれば防げるものですが、この数字はいかに人が不注意に陥りやすいかを物語っています。

このように人は、常に集中してられるものではありません。

たとえば、「考えごとをしていたため信号の確認をせずに交差点に進入してしまった」、「駐車スペースで細かい操作を繰り返しているうちにアクセルとブレーキを踏み間違えてしまった」など、人はちょっとしたことから注意しきれない状態になってしまい、思わぬ事故に発展するおそれがあります。

(※一般社団法人日本自動車連盟(JAF) HP: <http://www.jaf.or.jp/rservice/data/2011/year.htm> を参照)



どうして注意しきれない状態になるのでしょうか

どうして「信号をよく確認しない」、「アクセルとブレーキを踏み間違えてしまう」という注意しきれない状態になるのでしょうか？

ドライバーは普段あまり意識をしていませんが、左右の安全確認やペダルなどの運転操作の手順一つ一つに、注意を振り分けて運転しています。



そのようなときに、他のことを考えているとそちらに気がとられ、運転に対する集中力が低下してしまい、注意を保てなくなって、つい「信号をよく確認しない」で交差点に進入してしまうなどの安全確認ミスが起こる可能性があります。

また、駐車スペースで、時間が無いと焦って細かい操作を繰り返していると、注意の働きが安全確認や運転操作へ十分に行き届かなくなり、「アクセルとブレーキを」取り違えて操作してしまうなどの運転ミスが起こる可能性があります。

注意をうまく働かせるためにはどうしたらよいでしょうか

自分はどのような注意の働きの傾向があるのかを知り、注意の働きを安全確認や運転操作に向け続けるためにはどうしたらよいかをみてみましょう。

次の文章に当てはまると思う場合は、☐にチェックを入れてください

- ☐ ゲームをしたりテレビを見ているときに、自分の名前を呼ばれても気がつかないことがある。
- ☐ 友達が髪型や服装などのイメージを変えたことに気が付かないことがある。
- ☐ 友達と話しながらメールを打っていると、間違えて操作してしまうことがある。
- ☐ 片づけなどの単純作業をしていると、すぐに飽きてしまうことがある。
- ☐ ドラマや映画を見ているときにぼんやりしてしまい、気がつくと言語の筋がわからなくなることがある。
- ☐ 周りの音が気になって、なかなか仕事に集中できないことがある。

チェックが多いほど次の傾向が考えられます



注意の「選択と振り分け」が苦手

注意が安全確認や運転操作に行き届かない。

注意の「集中と持続」が苦手

集中力が低下し注意を保つことができない。

運転時のアドバイス

今見えている中で、何に注意を向ければよいのかを判断する時間を作るために、車のスピードを抑えて運転しましょう。

運転時のアドバイス

運転の疲れなどで集中力が途切れることを防ぐため、休憩をこまめに取りましょう。

ぼんやりしていたり焦っていたりしているときに、自分自身の注意の働きが鈍っていることを自覚することはできません。注意力の低下がありうることを理解して、運転に集中し、安全確認や運転操作に注意を向けましょう。

運転に集中して、安全確認や運転操作に注意を向けられるように、スピードを抑えて走行し、適度な休憩を取ることを心掛けましょう。

今月のクイズの答え

② 31.4%

(警察庁「平成23年中の交通事故の発生状況」を参照)

ご用命・ご相談は・・・

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO., LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL <http://www.hokensystem.co.jp>



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課